

研究課題名

COVID-19(SARS-CoV-2)に対して日本人が交差免疫を有しているか否かの検討

研究グループ

研究責任者:松波 英寿

研究の目的及び概要

新型コロナウイルス COVID-19(SARS-CoV-2)感染症は、世界中でパンデミックを起こしています。しかし日本を含む東アジアでは、重症化率、死亡率が欧米諸国に比べ低くなっています。コロナウイルスには、4種類の風邪コロナウイルス、SARS、MERS を引き起こすウイルス、コウモリのコロナウイルスなど、さまざまなファミリーがあり、絶えず進化しています。交通網の拡大により日本にも多くのコロナウイルスファミリーが入ってきていると予測されています。SARS が流行した 2003 年以降、東アジアの各地では、交叉するコロナウイルスファミリーへの交差免疫を有している可能性が指摘されています。

COVID-19(SARS-CoV-2)感染症における、日本人の交差免疫の有無の確認を行うことを目的とします。

健康科学リソースセンター(RECHS)にて同意を得て保存されている過去の血清検体、検査データ及び受診者情報からは受診者様の氏名の削除を行い、研究用の番号をつけて取り扱います。また、電子データはパスワードをつけてインターネットに繋がれていないコンピュータに保管し、研究終了の 5 年後に消去します。

研究成果は学会・学術雑誌等で発表する予定です。

氏名などの個人情報が公開されることはありません。

利用する情報の項目

健康科学リソースセンター(RECHS)にて同意を得て保存されている過去の血清検体、検査データ及び受診者情報

利用するものの範囲

松波 英寿、齋藤 邦明、竹村 正男、村山 正憲、山田 梨絵、傍島 卓也、岩田 暁、坂 英雄、酒井 昭嘉、吉川 智美

連絡先

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代 185-1

TEL 058-388-0111 (代表)

松波総合病院 外科・理事長 松波 英寿